

新潟県西蒲原郡四ツ郷屋方言の待遇表現

大橋 勝男

I. はじめに

- (1) 調査対象地： 日本海沿岸、新潟県のほぼ中央に位置する。新潟市の南西約20キロ。畑作農業、西瓜・メロン・大根を作る。1997年1月現在、世帯数635、人口2159
- (2) 調査年月日： 1997年1月12日 午後12時15分～3時15分
- (3) 主指示者： 高杉トモエ 1925年9月27日生（71歳）
同席者： 平原トサ 1925年9月26日生（71歳）
乙川八重 1926年3月25日生（70歳）
- (4) 調査者・調査場所： 大橋勝男・四ツ郷屋公民館
- (5) 調査方法： 当該調査票による質問調査
- (6) 表記方法： ① 方言事象はカタカナ表音表記とする。
② アクセントは高音部に棒線を付す。
③ 回答事象が複数にわたる場合は、斜線(/)を付し列記する。順序は、原則として、指示者の回答順とする。
④ 筆者の説明は <> 中に記す。

II. 調査結果

1. 尊敬表現

1-1 対者敬語

- (1) A お前は チー
元気か ゲンキラッタ カー<元気だったかあ>/ゲンキラッタ
B あなたは チー
元気かね ゲンキラッタ カイ
C あなたは オマエサン
元気かね ゲンキラッタ カネ
- (2) A あしたは家に居るか アシタ ウチニ イル カー
B あしたは家に居るか アシタ ウチニ イル カイ
C あしたは家に居られますか アシタ ウチニ イル カネ
- (3) A あした行くか アシタ イグ カー
B あした行きますか アシタ イグ カエー
C あした行きますか アシタ イグ カネー
- (4) A 温泉に行かないか オンセン イガネ カー
B 温泉に行かれませんか オンセン イガネ カイ
C 温泉に行かれませんか オンセン イガネ カネ

- (5) A あしたはどんな仕事をしますか アシタ ドンダ シゴ下 シル エイー / スル
 B あしたはどんな仕事をされますか アシタ ナニ シゴ下 シル ネ
- (6) A 見ましたか ミタ カイ
 B 見ましたか ミタ カネ
- (7) A ゆうべは何時に寝ましたか ユーベ チンジニ ネタ イー
 B ゆうべは何時に寝ましたか ユーベ チンジニ ネタ ネ
 C そのベッドに寝てください ソノ ベットニ ネテ クンチサイ / ネテ クラッシュヤレ
- (8) A どこに行っているか ドゴ (エ) イッテルアダー
 B どこに行っていますか ドゴ イッテルアダイ
 C どこに行っていますか ドゴ イッテアンダ ネ / イッテル ネー
- (9) A どうぞ食べてくれ タエツ テヤ
 B どうぞ食べてください クッシュヤレ / クッテ クレ ノ
 C どうぞ食べてください タベテ クレ ネ / タベテ クンチ ネ
- (10) A その写真を私に見せてくれないか ソフ シャジン オンニ ミシテ クレ ヤー / ミセレ ヤー
 B その写真を私に見せてくださいませんか ソフ シャジン オンニ ミシテ クレ ノ / ミシテ クレ ネ
 C その写真を私に見せてくださいませんか ソフ シャジン オンニ ミシテ クレ ネ

1-2 第三者敬語

- (11) A あしたは家に居るだろう アシタ ウチニ イル コテヤ / イル下 ヤ<居るってよ>
 B あしたは家に居るだろう アシタ ウチニ イルロ / イルダラ ネ<居るようだよ> / イル下 オモー レヤ / イル下 オモーロモ ア
 C あしたは家におられるでしょう アシタ ウチニ イル下 オモーロモ ア
- (12) A 居なかった インカッタ レヤ
 B 居なかった イネカッタ レヤ
 C 居なかった イネカッタ レヤ
- (13) A そう言った ソー イッタッター ア
 B そう言った ソー イッタッター ア
- (14) A 今そこに行っていた イマ ソコニ イッテタッター ネー
 B 今そこに行っておられた イマ ソコニ イッテタッター ネー
 C 今そこに行っておられた イマ ソコニ イッテタッター ネー
- (15) A 友達が来ている トモダチガ キテタダー ネ / キテタダ ガ / キテルスケー ア
 B Aさんが来ている Aサンガ キテタダー ア
 C Bさんが来ている Bサンガ キテタダー ア

- (16) A Aさんが仕事をしている Aサン イマ シゴト シタツタレ ヤ
 B Bさんが仕事をしている Bサン イマ シゴト シタツタレ ヤ
- (17) A 見せてもらった ミシテ モロタ レヤ
 B 見せてもらった ミシテ モロタ レヤ
 C 見せてもらった ミシテ モロタ レヤ
- (18) A 見せてくれた ミシテ クッタレヤ
 B 見せてくれた ミシテ クッタレヤ
 C 見せてくれた ミシテ クッタレヤ
- (19) A 私にくださった クレタレヤ
 B 私にくださった クレタレヤ
- (20) A いただいた モーテ キタレヤ/ モロタレヤ
 B いただいた モーテ キタレヤ/ モロタレヤ

2. 謙譲表現

2-1 謙譲表現

- (21) A 私も オレモ
 B 私も オレモ
 C 私も オレモ
- (22) A 十分に食べました エッペー モツテ<貰って>クタ/タベタツ テヤ
 B 十分に食べました エッペー モツテ<貰って>クタツ テネ/タベタツ テネ
- (23) A 持ちましょう モツテ ヤル ガノ/モツテ ヤル ガニ/モツテ ヤル ガエイ (やや上)
 B 持ちましょう モツテ ヤル デネー
- (24) A 待たせたね マダシタ ナーイ
 B お待たせしました マダシタ アニ
 C お待たせしました マダシタ ネニ
- (25) A 駅で待ってるよ エキデ マツテル ガニ/マツテル ロー
 B 駅で待っていますよ エキデ マツテル ガエイ
 C 駅で待っていますよ エキデ マツテル レネ
- (26) A 言ってくれ イーテ クレー
 B 言ってくれ イツテ クレ ネ
 C 言ってくれ イツテ クダサレ
- (27) A これをやろう コレ ヤル ガニ/クレル ガニ
 B これをあげましょう コレ クレル レニ
 C これをあげましょう コレ ヤル レネー

2-2 身内敬語

- (28) A 買ってやった コーデ ヤッタ ガニ/カッテ クッラニ ネニ<買ってくれたよう>
B 買ってやった コーデ ヤッタ ノニ
C 買ってやった コーデ ヤッタ ガネニ
- (29) A 主人はもう帰っている スイーチャン ヘー カエツテ キテ イタ レニ/カエツテ
キテ イター ノニ
B 主人はもう帰っています スイーチャン ヘー カエツテ キテ イタ レネニ

3. 丁寧表現

- (30) A 行くよ イグ ガニ
B 行きます イダ レニ
- (31) A 寒いね サーベ ナエニ
B 今日は寒いね キョーワ サーベ ノニ
C 今日は寒いですね キョーワ サームイ ネニ
- (32) A 居るよ イル ガニ
B 居ます イル レニ
- (33) A よかったねえ エカッタ 左ニ
B よかったですねえ エカッタ ノニ
C よかったですねえ エカッタ ネニ
- (34) A そうか ソーラ ダニ
B そうですか ソーラ ダニ
C そうですか、 ソーラ カネニ

4. 人間関係に応じた待遇表現

4-1 特定表現の待遇表現

- (35) その角を曲がって右へ行くと～ ソコフ カド マガツテ ミギ イツテ～
(36) とんでもない ドーシテ オツラト カー<どうして居ることがあろうか>

4-2 多人数場面の待遇表現

- (37) 村(町内)の寄り合いで、何かの世話役を頼まれ、それを引き受けるとき ジュンバンダバ
オガ スル ガイ<順番ならば、俺がするよ>
- (38) 今度の旅行には参加者が少ないので、皆さん参加してほしい コンドノ リョコーニワ ヤニ。
ダーツレモ イグ モン ノーテ コマルスケ オマエタチモ イツテ クラツシヤレ

4-3 位相による待遇表現

(39) 朝9時頃に、近くの道路で、次にあげる人に出会ったとき

《A》挨拶 《B》どこへ行くのか

1. お寺の住職さん

《A》 オハヨー ゴザイマス/オマエサン ハーエー ネー/ハエくもう> オマエニくお
回りに> アク 方イ<歩くかい>

《B》 ドゴイギラ イ/コンド ドゴラ ネー/ドゴノ ウチラ ネー

2. 校長先生

《A》 オハヨー ゴザイマス/オマエサン ハーヤイ ネ

《B》 ドゴ イギマス ネ/ドゴラ ネ<新>

3. 見知らぬ年配の男性

《A》 オハヨー ゴザイマス

《B》 聞かない

4. 見知らぬ年配の女性

《A》 オハヨー ゴザイマス

《B》 聞かない

5. 顔見知りの年上の男性

《A》 オハヨー ゴザイマス/ハヤイ フー

《B》 ハヤバヤト ドゴイギラ イ

6. 顔見知りの年上の女性

《A》 ハエ フシ/シンケンダ<仕事精を出す> カイ/シンケンダ フー

《B》 アサ ハヤバヤト ドゴ イグ イ

7. 10歳ほど年下の見知らぬ男性

《A》 オハヨー ゴザイマス

《B》 聞かない

8. 10歳ほど年下の見知らぬ女性

《A》 オハヨー ゴザイマス

《B》 聞かない

9. 同級生の男性

《A》 ハーヤエ チエ

《B》 ドゴ イグー/ドゴイギラー

10. 同級生の女性

《A》 ハヤエ チーエ

《B》 ドゴ イグー/ドゴイギラー

11. 10歳ほど年下の顔見知りの男性

《A》 オハヨー

《B》 ドゴイギリ

12. 10歳ほど年下の顔見知りの女性

《A》 オハヨー

《B》 ドゴラー／ドゴ イグー

13. 近所の中学生の男の子

《A》 ハヤエ チェ

《B》 ハエ<もう> ガッコラ カー。／聞かない

14. 近所の中学生の女の子

《A》 オハヨー／ハヤエ ネー

《B》 ドゴ イグー

III. 総括 (まとめ)

1. 当方言上待遇表現 (法) の全体像

上待遇表現の言い分けをする —— 尊敬表現の中の対者敬語

上待遇表現の言い分けをしない —— 尊敬表現の中の第三者敬語、謙譲表現 (謙譲表現・身内敬語ともに)、丁寧表現

このように、当方言における上待遇表現 (法) の世界は、対者敬語の部にほぼ限られる。「人間関係に応じた待遇表現」も、対者敬語の場合にほぼ限られる。

2. 尊敬表現の中の対者敬語の原理・用法

(1) 代名詞

対称 ナー → オマエサン

(2) 文末詞

問いかけ

「イル」+[カ → カイ → カネ]

「イタ」+[イ → ネ]

依頼

「テ クレ」+[ヤ → ノ → ネ]

挨拶

「ハヤエ」+[ネー → ナエ → ノー → ノシ → ネー]

< 注. 「ネー」は、目上にも目下にも。中年層以下になると「ナエ」や「ノシ」は (親愛的に) 用いない。 >

(3) 助動詞

依頼

「テ」+[クラッシヤレ]

「テ」+[クンナサイ]

勧奨

「クッツ」+[シヤレ]

(動詞未然形)

「イキ」+[マス]

<注. 相手の動作を尊敬して。尊敬表現の手段として。— 例. ドゴ イギマス
ネ (校長先生に) >

(4) 補助動詞

勧奨

クエ → クツテクレ

(動詞命令形) (依頼形)

挨拶

「オハヨー」+[ゴザイマス]

(5) 動詞

クウ → タベル

(例. 勧奨 クツテクレ ノ → タベテ クレ ネ)

この中でも、特に文末詞による待遇表現の仕分けが盛んである。ここに、当方言待遇表現(法)の特性を認めることができる。

(おおはし かつお 新潟大学)